



# 第 292 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：Sqstm1 /A170/p62 遺伝子欠損マウスが呈する肥満とメタボリックシンドローム

演者：藤 栄治 先生

人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 環境分子生物学研究室

日時：2009年 7月 31日（金） 17:00-18:00

会場：4A482

要旨：Sequestosome 1 (Sqstm1) は、酸化ストレスにより発現誘導される遺伝子として見出されたものであるが、近年、タンパク質分解系オートファジーや自然免疫、また様々なシグナル伝達を調節する細胞内アダプタータンパク質として機能すると考えられている。我々は Sqstm1 欠損マウスを作製し、表現型を解析したところ、過食に起因する著しい肥満症を呈することを見出し、新しいメタボリックシンドロームモデルとして有用であることを明らかにした。この KO マウスは、摂食抑制ホルモンであるレプチンの視床下部におけるシグナル伝達に異常が見られることを明らかにした。さらに、別のアプローチから Sqstm1 は、細胞増殖、アポトーシスのシグナルに関与していることも明らかになりつつあり、Sqstm1 が関与する生命現象は多岐にわたると考えられる。本セミナーでは、Sqstm1 の分子機能について、中枢摂食調節メカニズムを中心に我々が見出した最新の知見を紹介する。

連絡先： 人間総合科学研究科 石井哲郎 (内線 3061)

【筑波分子医学協会 (TSM) 主催】 HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSM セミナー担当 筑波大学基礎医学系 濱田理人